



# 学校だより

10月号

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/toyooka/>

TEL:045-581-3248

学校教育目標：【学び合い 高め合い まちとともに明日を拓く豊岡っ子】

## 全体像を掴むことができる・・・

校長 成田 玲子

もう10月になるというのに、今年は暑さがおさまりません。夏休み明けは結局1回も水泳ができませんでした。暑すぎて水泳ができない9月というのは初めてです。WBGT計での暑さ指数の計測は現在も継続しています。9月は数値が「原則運動中止」を示すことが多く、休み時間に外遊びできない日が続きました。最近になってようやくとよおかオリンピックに向けて徒競走のタイム測定を行ったり、休み時間に外でボール遊びなどをしたりすることができる状況になってきたところです。とよおかオリンピックに向けての練習が順調に進むよう、過ごしやすい日が続くことを祈る毎日です。

このところ、校長室に、音楽室から合奏の練習をしている音が響いてくるようになりました。今、合奏に取り組んでいるのは6年生です。少し難しい、仕上げるまでに時間のかかりそうな曲なのですが、熱心に取り組んでいます。授業の様子を見に行くと、真剣な顔で説明を聞いたり、同じ楽器を演奏する仲間と一緒に難しいところを練習したりする姿が見られます。はじめのうちは、自分のパートを自分のペースで演奏することで精一杯です。全体で合わせようとしてもずれてバラバラになったり分からなくなったりすることが続きました。ところが、練習を重ね、少しずつ区切りながら演奏を合わせていくと、徐々に音が揃うようになってきました。子どもたちは、休み時間にも熱心に練習をしているので、その成果もあるのでしょう。

メロディーでないところを担当する子どもたちは、実は、曲の全体像が見えるようになるまでは、どのタイミングで自分が音を出すのかを掴むのはとても難しいです。練習を積み、少しずつ音が揃うようになると、曲の全体像が捉えられるようになり、どこで自分が演奏を始めるのか、どこで休むのかなどがストンと落ち、自信をもって演奏することができるようになってきます。先日、はじめはなかなか手がつかなかった子が、練習をして分かってきたときにとても嬉しいような顔を見せてくれました。また、グループ練習をしていた子どもたちが私に手を振ってくれました。「曲らしくなってきたね。」と話すと、とても誇らしげな顔を見せてくれました。子どもたちはできるようになると嬉しいし、ますます頑張ろうとするのだと改めて感じました。

私たち大人でも、今、自分のしていることは何のためにしているのか、全体の中でどのあたりを組んでいるのかを見失うと、うまく進められなくなりがちです。ですから、子どもたちにはなおさら、全体像がつかめるようにすることは大切になってきます。様々な学習で学習計画を立てて学習を進めるようにしているのは、見通しをもつことと同時に全体像を捉えるためにも大切なことだといえます。

6年生が取り組んでいる合奏は100周年記念式典で演奏する曲です。今は学級ごとの練習ですが、本番は6年生全員で取り組みます。曲名はまだ秘密にしておきます。当日をどうぞお楽しみに。

